

12月23日二学期終了！よいお年を！

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう

礼儀
積極的にかかわる力

挨拶・返事・後始末

元気の挨拶は相手を
思いやる優しさ

物事をやり抜く力
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

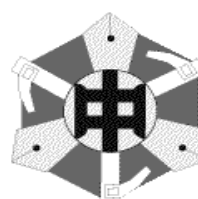
沃野

発行

12月 第34号

船浦中学校

校長 宮城裕子



お礼の言葉

海洋教育 online 交流会 with 長良中



生徒お礼代表
野田晴天さん



3年生がクイズの
作成と出題を行
い、1,2年生は視
聴参加しました。



12月19日(月)岐阜市立長良中学校とのonline交流会を実施しました。本校の海洋教育は、一学期から珊瑚のモニタリングを核に伝統の三大行事等とリンクしながら、また3年生徒がリードしながら、全生徒でSDGsの視点を踏まえ、“海・山・川”のつながりを学習しているところです。海洋教育を担当する当山先生を推進役にこれまでの学習の成果をクイズ形式にして、お互いの学習の成果を知る機会とし交流を深めました。相手校の古田校長先生から、「元気が素晴らしい、内容やプレゼンが大変上手ですね」とのお褒めの言葉をいただきました。

上原地区学力向上推進実践報告会



12月8日(木)に開催された報告会で本校の大瀧富士子先生と当山哲郎先生が本校の学校教育活動について、どのような「学力」に繋がっていくのかまた、海洋教育を通して子供たちに未来を切り拓いていく資質・能力を新年1月の授業参観日に報告会のビデオ視聴会を計画しています。参加できなかった保護者様、本取組を知る良い機会です。ぜひご来校ください。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 元旦 冬季休業	2 ～	3 1/3迄	4 仕事始め 2023 1月	5 部活動再開 *野球、バスケ 9:00～12:00	6 3学期始業式(しおり参照) *新春書き初め大会 5,6校時 身体測定(全学年) 18:00 お迎え下校	7
8	9 成人の日	10 *授業参観日 5校時 学推実践報告V視聴	11 3学末テスト①日目 *クリーンタイム 1,2学年	12 3学末テスト②日目	13 3学末テスト追試 海洋教育交流会 with 羅臼町 10:00～12:00 上原小於 2学年全員参加	14

#6校長講話

「挨拶・返事・後始末」



「校訓」何だっけ???

さすが3年生！見事校訓を唱えてくれました。

校長講話を聞いて1年生の感想

日常的にやっていることがどれだけまわりに影響を与えているのか分かった。また、あいさつがどれだけ大切で、自分の意思表示を示すものだを知った。これからもあいさつを心がけたい。

普段何気なく使っている挨拶が実は「敵じゃない」と知らせるためのものということを知って驚きました。これからは普段使っていることを意識しながらその場に応じてじっくり使っていきたい。

「島立ちの地図」にも書かれてる挨拶ですが、いつも無意識だったので、これからは意識して心を込めて挨拶したいです。

あいさつの大切さに気づいたのであいさつができるようにしたいです。

問題に出された校訓とが分からなかったの、次までに覚えておきたいです。

あいさつは誰にでもやっていいんだと思いました。これからは3秒礼ができるようにしたいです。

「あいさつ」は今まで何も気にせずしてきたけど、あいさつをすることで相手の気持ちを知れたり、自分の状態を伝えられたりとできることを知った。

あいさつを今まで気持ちよくやってきてなかったから、気持ちよくやれるように心がけようと思った。

普段やっていることが船中のすごい所だと思った。普段の生活でも細かい所まで気をつけられたらいいなと思った。

挨拶は日頃から多く使うもので、少しよくするだけで大きくイメージとかも変わるので、初心に戻って意識を変えていきたいです。挨拶によって人生も変えていこうと思うので芯(挨拶)をしっかりしたいです。

これからは、すれちがった人などに気持ちのよい挨拶をして、その人が楽しい！日を過ごせるようにしたいと思った。また、校訓や生徒会のテーマにそって学校に行きたいと思った。

語先後礼をしっかりやりたい。人に会ったらあいさつを心からやりたい。無意識じゃなく、意識的にしっかりやりたい。

僕は今回の校長講話を聞いて、校訓などけっこう覚えてないもんだなと思った。また、挨拶について、昔の合図から来ていると知りビックリした。あいさつもやらされるじゃなく、自分からできるようになる。

中学生は心に残るあいさつをしないといけないと言うことです。また、観光客にも元気なあいさつをしていきたいです。

最近部活でも挨拶について大事だと話していたので、これからは、相手が気持ちよくできるあいさつにしたいです。

二期終業式 校長あいさつ

* (省略版)・・・HPに全文を掲載いたします。ご了承ください。

二期の自分自身を振り返り、「どのように過ごしていましたか」「何かの気づき、頑張ったこと、失敗から学んだこと等どうでしたか」考えてみてください。この後、学級担任の先生方から、皆さん一人ひとりに通知表が渡されます。各教科や委員会活動などのがんばった姿、進歩した点や努力してほしい点などのコメントが書かれています。三期には、学習面でどの教科の、どの分野の努力が必要か、さらに伸ばしていけばよいのか、しっかり考え、そのための努力を惜しまないでほしいと思います。三期は新生徒会の発足、卒業を3ヶ月後に控える三年生と新旧の引き継ぎからスタートします。各々の候補者から「思いやり」や「より良い船中のために」という言葉が印象的でした。皆さん一人一人にとって船浦中学校がよりよい居場所となるよう皆さんの思いが一つに近づけるような学校づくり、各自の日々の取組・過ごし方に期待を寄せたいと思います。短い冬休みですが、事故や事件に巻き込まれないよう充分に気をつけて、休日を有意義に過ごして下さい。これで二期終業式の話が終わります。

二学期終業式

校長式辞全文

二学期が、いよいよ今日で終わります。二学期は、夏休み明け再びコロナ禍の猛威にさらされた始まりでした。(6/28～7/1に上原地区の感染拡大で臨時休校)8月29日一日遅れの始業式、友里恵先生が出産のためお休みに入り、新しく東京から千夏先生を迎えました。そして9月地区陸上への挑戦から怒濤のように色々な行事に取り組んできました。校内行事では文化祭、地区駅伝大会、10月の県陸上大会には7名の選手を送り出しました。1学年の職場体験学習、2学年の修学旅行、その他地区意見発表大会など、どの行事においても、皆さんが船浦中の生徒として精一杯チャレンジする雄志を目の当たりにし、とても嬉しく微笑ましく元気をもらいました。三年生は最後の三大大行事となるテドウ山登山、山頂から船浦湾・母校を眺め、「わぁ～」という歓声があがったと聞いています。皆さんのキラリと光る感性を感じさせます。11月の中文祭での合唱「栄光の架け橋」や音楽発表会のTANGO、地域での吹奏楽披露等、大舞台上で緊張感あふれる中にも堂々と演技する姿、「心臓バクバク」・・・は皆さんの確実な成長に繋がっています。つい先だって開催された中体連新人大会もそうでした。代替わりをした1,2年生の一生懸命な姿、今までの自分とは違う、成長した自分を実感した人もいませんか。惜敗はしましたが試合結果からではなく、先輩のいた夏季中体連から一回りも二回りも大きく、悔しさをにじませながら自信がついた顔を覗うことができました。誇らしいです。

さて、1年生の皆さんに、二学期を振り返り中学生としての3つの心構えをお願いします。

第一に、学校は勉強する場であることを忘れずに、自ら学び、考え、進んでしっかり自学に励むこと。

第二に、根気強くたくましい心と体をつくること。自分の夢や目標に向かって成長してほしい。

第三に、中学生として自分で正しく判断し行動すること。自分の行動に責任を持たなければなりません。そのために、他者の声に素直に耳を傾ける中学生になってほしいと思います。

また、2年生と3年生の皆さんには、次の3つのことをお願いします。

第一に、一年生に対して、先輩であるみなさんが、正しい手本を示してほしいこと。

第二に、三年生は、いよいよ自分の進路を決める大切な時期、「夢は見るものではなく、叶えるもの」です。夢実現に向けて全力で頑張ってもらいたいこと。そのスタートラインに立つこと。

第三に、二年生は3年生の「島立ち」を支え、1年生の模範となる先輩として、船浦中学校の伝統を引き継ぐこと。中堅学年としての責任、次代を担う責任を果たしてもらいたいと思います。

最後に、二学期の自分自身を振り返り、「どのように過ごしていましたか」「何らかの気づき、頑張ったこと、失敗から学んだこと等どうでしたか」考えてみてください。この後、学級担任の先生方から、皆さん一人ひとりに通知表が渡されます。各教科や委員会活動などのがんばった姿、進歩した点や努力してほしい点などのコメントが書かれています。三学期には、学習面でどの教科の、どの分野の努力が必要か、さらに伸ばしていけばよいのか、しっかり考え、そのための努力を惜しまないでほしいと思います。三学期は新生徒会の発足、卒業を3ヶ月後に控える三年生と新旧の引き継ぎからスタートします。各々の候補者から「思いやり」や「より良い船中のために」という言葉が印象的でした。皆さん一人一人にとって船浦中学校がよりよい居場所となるよう皆さんの思いが一つに近づけるような学校づくり、各自の日々の取組・過ごし方に期待を寄せたいと思います。短い冬休みですが、事故や事件に巻き込まれないよう充分に気をつけて、休日を有意義に過ごして下さい。これで二学期終業式の話が終わります。

令和4年12月23日

文責 校長 宮城裕子